



化学物質管理

主な石綿の使用状況について

当社は2005年8月5日に石綿に関する調査結果を公表以降、継続的に石綿に関する調査・対策を進めています。2019年3月31日現在の使用状況は以下のとおりです。今後も石綿の除去や非石綿製品への取替えを計画的に進めるとともに、国の石綿対策の動向や関係法令などを踏まえ、石綿問題に関して適正に対応していきます。

主な石綿の使用状況(建物・設備)

(2019年3月31日現在)

対象	使用箇所	現状(使用状況等)	備考(対応状況他)
石綿を含有する吹付け	設備機器室、予備電源室、変圧器室等の防音材、断熱材、耐火材として一部の壁面や天井	吹付け石綿等については使用箇所を把握し計画的に対策を実施しています。 ・未対策の自社建物:1棟 ・変圧器防音材 :1台	< 自社建物 > ・未対策の箇所については順次対策を進めており、今後も可能な限り早期に除去等の対策を実施していきます。 ・定期的に劣化度調査、浮遊濃度測定を行い、安全を確認しています。 < 変圧器防音材 > ・2006年度より計画的に変圧器防音壁に使用した吹付け石綿の除去作業を実施しています。
石綿含有製品	建材	建物の耐火ボード、床材等	2006年8月以前に使用された建材に含まれていると考えられます。それ以降は石綿含有製品を使用していません。
	防音材	変圧器の防音材(変電設備)	18台
	石綿セメント管	地中線用の管路材料(送電設備・配電設備)	亘長:約930km
	保温材	発電設備(火力設備・原子力設備)	石綿含有製品残数:約4,220m ³ (全数の約3%)
	シール材・ジョイントシート	発電設備(火力設備・原子力設備)	石綿含有製品残数 (火力)約9.1万個(全数の約20%) (原子力)約11.3万個(全数の約70%)
	緩衝材	送電設備等の懸垂碍子	約190万個(全数の約34%) (碍子内部で緩衝材として石綿含有製品を使用しています。碍子表面の磁器部分には使用していません。)
	増粘剤	架空送電線用の電線	亘長:約220km(架空送電線全亘長の約2%)
その他	上記以外にも石綿含有製品を一部使用していますが、いずれも成型品であり通常状態において飛散性はありません。定期検査や修繕工事等の機会にあわせて順次、非石綿製品へ取り替えていきます。		

化学物質への対応

PRTR法(特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律)を遵守するとともに、社内管理手引等に基づき化学物質の厳正な管理と排出量低減に取り組んでいます。